※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	初級国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	基本級別漢字（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生では、進路選択や社会生活で必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・漢字を中心とした国語常識を学習します。知識の習得とともに、それらを用いて意思を伝えたり、自分の感じたことを表現したりする練習も行います。授業に積極的に取り組んでください。
・定期考査を実施します。計画的に学習して定期考査に臨んでください。

２　学習の到達目標

・漢字を中心とした国語常識に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
【知識及び技能】
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
【思考力・判断力・表現力等】
・語彙を増やし、書く能力を高めるため、国語の理解力の基礎を固めようとしている。
【学びに向かう力、人間性等】

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・漢字について、読み、書き、部首の判別、熟語に関する知識を養う。 ・上記漢字を用いた語彙を学び、語彙力を増やす。 ・学習した漢字や語句を適切に用いて文章を書く。	・漢字を用いた短文の読解を通じ、文意を正しく理解する力を養う。 ・設定したテーマについて実社会や書籍等を調べ、必要な情報をまとめて文章等に表す。 ・目的や場の状況に応じて、自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫する。	・言語活動を通して、コミュニケーション方法を振り返りよりよいコミュニケーションができるよう自己分析を行える姿勢を養う。 ・自己の能力に対する自信と意欲を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	漢字学習への導入 漢字の分類 ［教材］ プリント	a：漢字の由来、成り立ち、分類を理解する。 b[読]：学習した内容をもとに、漢字を分類しようとしている。 c：学習に主体的に取り組もうとしている。	小テスト 記述の確認 定期考査	行動の観察 記述の点検 小テスト	行動の観察 記述の点検
	漢字の音訓 漢字の筆順、部首 ［教材］ プリント	a：漢字の音訓についてのルール、筆順、部首の分類について理解する。 b[書]：学習した内容をもとに、音訓・筆順・部首の問題に取り組もうとしている。 c：学習に主体的に取り組もうとしている。	小テスト 記述の確認 定期考査	行動の観察 記述の点検 小テスト	行動の観察 記述の点検
二学期	対義語 同音異義語 四字熟語 ［教材］ プリント	a：対義語、同音異義語、四字熟語について、その意味や構造について理解する。 b[読]：学習した内容をもとに、対義語、同音異義語、四字熟語を分類し、理解しようとしている。 c：学習に主体的に取り組もうとしている。	小テスト 記述の確認 定期考査	行動の観察 記述の点検 小テスト	行動の観察 記述の点検
	慣用句 ことわざ・故事成語 （語の由来を調べて発表する） ［教材］ プリント	a：慣用句、ことわざ・故事成語の由来、成り立ち、意味を理解する。適切に伝えるための言葉遣い、話し方について知る。 b[話/聞]：調べた中から必要な情報を選び、まとめ、伝え方を工夫して発表しようとしている。 c：学習に主体的に取り組もうとしている。	小テスト 記述の確認 定期考査	行動の観察 記述の点検 小テスト	行動の観察 記述の点検
三学期	国文法 国語常識総合 ［教材］ プリント	a：国語文法についての知識を理解する。1年間学習した内容を復習し、理解する。 b[読、書]：学習した内容をもとに、国語常識の総合的な問題に取り組み、理解しようとしている。 c：学習に主体的に取り組もうとしている。	小テスト 記述の確認 定期考査	行動の観察 記述の点検 小テスト	行動の観察 記述の点検

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　10　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　30　）時間